

—科名変更履歴等—

2013年度(平成25年度)から大阪府泉州救命救急センター統合、2013年度(平成25年度)から救命診療科院内標榜

—概要—

救命処置が必要な患者様を助けるためには迅速な救命治療の開始が重要です。

当センターでは、初療室の隣に、手術室2室、血管造影室、CT室を完備し、いかなる病態に対しても迅速に処置・手術が開始できる救急初療システム(初療・手術室システム)をもっています。

救急診療に必要な共通認識を持った救命医が24時間体制で診療に当たり、緊急性の高い処置や手術も搬入とほぼ同時にできる体制が整備されています。

当センターでは年間約2000例超の重症救急患者を受け入れています。内、550例が外傷患者です。内因性疾患患者の中では脳血管障害患者が多く、その他ありとあらゆる傷病・病態の患者さんを受け入れています。また、内因、外因合わせて院外心肺停止患者が150例に上ります。年間600件以上の全麻手術、160件程度の血管造影・塞栓術・血管内手術を行っています。

—研究業績数—

	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度 令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	計
英文原著、 総説、著書			0	3	9	5	3	3	1	0	24
和文原著、 総説、著書			10	17	15	9	2	3	1	7	64
国際学会報告			3	4	7	6	2	4	0	0	26
国内学会報告			23	32	41	31	26	29	25	8	215
研究会・講演会			2	5	5	1	0	1	0	0	14
学術講演・講義			7	21	8	3	7	0	0	0	46
院内研究活動			0	0	0	0	0	0	0	0	0
座長			0	0	6	8	9	5	15	4	47
計			45	82	91	63	49	45	42	19	436

研究業績：診療局 救命診療科

平成25年度

(1) 原著、総説、著書

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	「循環モニタリングを活用した輸液管理」～SVVとEVLWを組み合わせた呼吸循環管理」	渡部広明	日本蘇生学会雑誌	32	29-35	2013
2	「ショックを伴う多発外傷」	水島靖明 中尾彰大 松岡哲也	救急医学	37(13)	1714-1719	2013
3	「二次医療圏規模で導入した新しい救急医療体制の効果と更なる体制整備に向けた課題」	中尾彰大 川口竜助 水島靖明 松岡哲也	日本臨床救急医学会雑誌	16(6)	817-825	2013
4	「市立病院産婦人科統合運用による広域母子医療センター化に伴う地域の産婦人科救急搬送の変化」	松岡哲也	日本周産期・新生児医学会雑誌	48(4)	922-927	2013
5	外傷外科手術治療戦略(SSTT)コース公式テキストブック	渡部広明 松岡哲也(編集)				2013
6	「強塩酸内服による腐食性食道・胃・十二指腸損傷」	山本博崇 高橋善明 水島靖明 松岡哲也	日本腹部救急医学会	33(3)	661-665	2013
7	「Abdominal Compartment Syndromeの発症要因と治療法-Vacuum packing closureの有用性」	山本博崇 渡部広明 水島靖明 松岡哲也	日本腹部救急医学会	33(5)	837-842	2013
8	「敗血症における薬剤開発・臨床試験の実践. 治験デザインの実践事例」	中田孝明 松岡哲也	敗血症の診断/治療の実状と病態・メカニズムをふまえた開発戦略		328-332	2013
9	IABO	布施貴司	今日の治療指針			2014
10	発生区域による鈍的脳血管損傷分類と治療戦略の応用	萩原 靖	日本救急医学会雑誌	24	157-165	2013

(2) 学会研究会報告

番号	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	後腹膜病変の局在や進展の理解に必須であるretroperitoneal interfascial planes についての発生学的研究	石川和男	第113回日本外科学会総会	2013.4.12
2	Non-responderの体幹部外傷症例に術前CTは必要か?	中尾彰太	第27回日本外傷学会総会	2013.5.23
3	外傷患者におけるショック指標として、脈拍数は有用か?	水島靖明	第27回日本外傷学会総会	2013.5.24
4	脳挫傷体積とFDP D-dimerの関係 -線溶系亢進に関与する因子について-	萩原 靖	第27回日本外傷学会総会	2013.5.23
5	日本における外傷センター要件-当センターにおける「重症外傷センター」の現状-	渡部広明	第27回日本外傷学会総会	2013.5.23
6	膝損傷の新たな治療戦略-膝外傷におけるstaged surgeryの積極的応用」	布施貴司	第27回日本外傷学会総会	2013.5.23
7	蘇生に必要な戦略	渡部広明	第27回日本外傷学会総会	2013.5.24
8	この症例はなぜ搬送先選定が困難だったのか? ～選定困難例の発生状況を圏域全体で共有する体制整備の試み～	中尾彰太	第16回日本臨床救急医学会	2013.7.12
9	重症外傷患者の治療戦略におけるIVRの役割	水島靖明	第16回日本臨床救急医学会	2013.7.12
10	外傷症例の腹部CTにおけるcheckmark signの意義	石川和男	第41回日本救急医学会総会	2013.10.21
11	食道損傷に対する治療戦略	布施貴司	第41回日本救急医学会総会	2013.10.21
12	重症頭部外傷患者におけるICPモニタリング:開頭例、非開頭例の特徴について	萩原 靖	第41回日本救急医学会総会	2013.10.21
13	頭部外傷における凝固機能障害と損傷部位の関係	萩原 靖	第41回日本救急医学会総会	2013.10.21
14	Primary surveyでのCT施行の是非を問う ～Non-responderの鈍的体幹部外傷症例に術前CTは必要か?～	中尾彰太	第41回日本救急医学会総会	2013.10.22

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
15	FLUID RESUSCITATION OF TRAUMA PATIENTS: HOW FAST AND HOW MUCH?	水島靖明	第7回ACEM	2013.10.24
16	THORACOTOMY FOR BLUNT CHEST TRAUMA: ARE THE TRADITIONAL CRITERIA OF CHEST TUBE OUTPUT USEFUL?	水島靖明	第7回ACEM	2013.10.25
17	A REPORT ON THE SURGICAL STRATEGY AND TREATMENT FOR TRAUMA (SST) COURSE FOR TRAUMA SURGEONS, NURSE, AND TEAMS	渡部広明	第37回ACEM	2013.10.25
18	SSTTコースの有用性と問題点 - 受講生の視点からのSSTTコース-	成田麻衣子	第5回日本Acute Care Surgery学会	2013.11.10
19	SSTT座学1日コースの教育的効果	渡部広明	第5回日本Acute Care Surgery学会	2013.11.10
20	重症外傷症例に対するドクターカー覚知同時要請システム運用の試み	中尾彰太	第8回日本病院前救急診療医学会総会	2013.12.6
21	体幹由来のD-dimer上昇が頭部外傷に与える影響	萩原 靖	第19回日本脳神経外科救急学会総会	2014.1.10
22	多発外傷患者の線溶系亢進が頭部外傷に与える影響	萩原 靖	第19回日本脳神経外科救急学会総会	2014.1.11
23	Acute Care SurgeryにおけるSurgical Critical Care ~Stroke volume variation (SVV) を用いた循環管理の有用性~	渡部広明	第18回エンドトキシン血症救命治療研究会	2014.1.17
24	泉州地域における 複数傷病者事案の実状- pre hospitalの対応の検討-	成田麻衣子	第19回日本集団災害学会	2014.2.26
25	外傷外科における手術治療戦略 ~ダメージコントロール手術を成功させるためには~	渡部広明	浜松外科医会	2014.1.21
26	難治性Vfに対しPCPSを導入し救命し得たカフェイン中毒の一例	吉川陽子	第109回近畿救急医学研究会	2014.3.1
27	重症臍頭部十二指腸損傷におけるダメージコントロール手術 ~ダメージコントロール戦略としての二次的臍頭十二指腸切除術~	渡部広明	第50回日本腹部救急医学会総会	2014.3.7
28	重症体幹部外傷症例においてopen abdomen managementが長期化する危険因子は何か?	中尾彰太	第50回日本腹部救急医学会総会	2014.3.6

(3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	消防法改正の効果と課題 泉州地域の取り組みについて	中尾彰太	第119回近畿救急医学研究会救急隊員部会	2013.5.17
2	小児重症肝損傷に対するDamage Control Suegry(DCS)	渡部広明	第50回日本小児外科学会	2013.5.30
3	Acute Care Surgeryとは何か? - 救急領域と外科の融合した新たな領域-	渡部広明	大分救急医学会	2013.8.25
4	小児重症腹部外傷の治療戦略-重症腹部外傷治療の最前線-	渡部広明	静岡県立こども病院	2013
5	外傷外科における手術戦略-ダメージコントロール手術を成功させるためには-	渡部広明	浜松外科医会	2013.1.21
6	重症外傷患者救命のためのトレーニング-off the job trainingにおける人材育成-	渡部広明	第53回中部防衛衛生学会	2014.3.13
7	外傷性脳血管損傷の診断と治療(若手教育セミナー)	萩原 靖	第37回日本脳神経外傷学会	2014.3.18

平成26年度

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	救急隊到着時に痙攣が持続している小児を救命救急センターへ搬送する事の有効性	安達晋吾 問田千晶 六車 崇 松岡哲也	日本臨床救急医学会雑誌	17(5)	649-655	2014
2	特集:わが国においてAcute Care Surgeryをいかに整備するか? 「Acute Care Surgeryセンター」設立とその活動 - 日本におけるAcute Care Surgeryのあり方-	渡部広明 山村憲幸 水島靖明 松岡哲也 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本腹部救急医学会雑誌	34(4)	987-991	2014

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
3	Damage control resuscitationのための基本知識 1.Damage control surgeryと Abdominal compartment syndrome Damage control surgery における Open abdomen management	渡部広明	救急・集中治療	26 (7・8)	1004-1011	2014
4	Surgical Strategy and Treatment for Trauma(SSTT)座学1日コースの有用性	成田麻衣子 渡部広明 井戸口孝二 水島靖明 松岡哲也	Japanese Journal of Acute Care Surgery (JJACS) (日本Acute Care Surgery学会)学会誌	4(1)	82-87	2014
5	当院におけるOpen abdomenの治療戦略	菱川恭子 水島靖明 中尾彰太 渡部広明 松岡哲也	Jpn J Acute Care Surg	4	4-10	2014
6	情報通信技術を活用して構築した救急搬送者登録システムの有用性	中尾彰太 松岡哲也 中田孝明 片山祐介	日本救急医学会雑誌	25(9)	693-702	2014
7	重症腹膜炎のopen abdomen 管理にVAC療法を併用した1例	菱川恭子 水島靖明 中尾彰太 渡部広明 松岡哲也	日本腹部救急医学会雑誌	34(5)	1075-1078	2014
8	第2章外傷治療戦略 1.蘇生に必要な治療戦略	渡部広明	外傷専門診療ガイドライン		19-31	2014
9	第2章外傷治療戦略 2.損傷部位別の治療戦略 ⑤腹部外傷治療戦略	渡部広明	外傷専門診療ガイドライン		80-81	2014
10	第2章外傷治療戦略 2.損傷部位別の治療戦略 ⑤腹部外傷治療戦略	井戸口孝二	外傷専門診療ガイドライン		81-99	2014
11	第2章外傷治療戦略 2.損傷部位別の治療戦略 ⑤腹部外傷治療戦略	比良英司	外傷専門診療ガイドライン		100-121	2014
12	第3章外傷治療戦術 1.蘇生に必要な治療戦術 ②蘇生的手術abbreviated surgery (DC1)	渡部広明	外傷専門診療ガイドライン		244-248	2014
13	第3章外傷治療戦術 3.外傷患者における集中治療管理 ①気道・呼吸管理 II呼吸管理 5.急性呼吸窮迫症候群	成田麻衣子	外傷専門診療ガイドライン		275-280	2014
14	第5章off-the-job training 1.既存コースの特徴 ②国内のコース I.Surgical Strategy and Treatment for Trauma (SSTT)コース	渡部広明	外傷専門診療ガイドライン		397-400	2014
15	SSTT	渡部広明	救急医学	38	439-442	2014
16	重症頭部外傷における凝固障害;その特徴と対処法	萩原 靖 水島靖明 松岡哲也	救急医学	38(4)	798-802	2014
17	Preliminary embryological study of the radiological concept of retroperitoneal interfascial planes:what are the interfascial planes?	Kazuo Ishikawa, Shota Nakao, Gen Murakami, Jose Francisco Rodriguez-Vazquez, Tetsuya Matsuoka, Makoto Nkamuro, Takeshi Shimazu				2014
18	Effectiveness of an improved medical care system for children in a critical care medical center:is it possible to provide an equivalent level of trauma care for children as we do for adults?	Chiaki Toida, Takashi Muguruma, Tetsuya Matsuoka			1-6	2014
19	The risk of pediatric bicycle handlebar injury compared with non-handlebar injury: a retrospective multicenter study in Osaka, Japan	Hirose T, Ogura H, Kiguchi T, Mizushima Y, et. al.	Scandinavian Journal of Trauma, Resuscitation and Emergency Medicine	23	66	2015
20	open abdomen managementの合併症、予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明 増永直久 その他	日救急医学会誌	26	116-24	2015

(2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	小児重症外傷におけるダメージコントロール戦略	渡部広明	第51回日本小児外科学会	2014.5.8
2	搬送先選定困難例を検証し問題点を地域で共有する体制整備の試み	中尾彰太	第17回日本臨床救急医学会総会	2014.6.1
3	外傷診療におけるハイブリッド治療の現状	井戸口孝二	第17回日本臨床救急医学会総会	2014.6.1
4	外傷外科手術治療戦略(SSTT)コース開催前後での初期診療の比較検討	加藤京子	第17回日本臨床救急医学会総会	2014.6.1
5	病院前重症外傷患者診察における救急救命士・通信指令室員と医師・看護師連携について	松浦治人	第17回日本臨床救急医学会総会	2014.6.1
6	鈍的胸部大動脈損傷に対する企業性ステントグラフトを用いたTEVARの現状	井戸口孝二	第43回日本IVR学会	2014.6.6
7	初期輸液療法の投与量の検討	水島靖明	第28回日本外傷学会	2014.6.25
8	外傷外科手術治療戦略(SSTT)コースの理念に基づく外傷診療の臨床的効果	比良英司	第28回日本外傷学会	2014.6.25
9	重症外傷に特化したドクターカー覚知同時要請システムの臨床的効果	成田麻衣子	第28回日本外傷学会	2014.6.26
10	腓骨骨折の新たな治療戦略～腓外傷における staged surgeryの積極的応用～	布施貴司	第28回日本外傷学会	2014.6.26
11	脳実質体積変化から見た急性硬膜下血腫による慢性期虚血性変化の検討	萩原 靖	第28回日本外傷学会	2014.6.26
12	転倒に起因する外傷死と性差の関連	中田孝明	第28回日本外傷学会	2014.6.26
13	ドクターカー覚知同時出動が治療戦略の早期決定に寄与した症例	福岡 博	第110回近畿救急医学会研究会	2014.7.12
14	非チフス性サルモネラによる重症敗血症性ショックの3例	斎藤 至	第110回近畿救急医学会研究会	2014.7.12
15	Usefulness of hyperglycemia as a triage tool at incident sites	Yasuaki Mizushima	The 12th Asian Pacific Conference on Disaster Medicine	2014.9.17
16	Multiple Casualty Incident in the Medical District of Senshu in Japan	Maiko Narita	The 12th Asian Pacific Conference on Disaster Medicine	2014.9.18
17	我が国におけるAcute Care Surgery研修カリキュラム	渡部広明	第6回日本Acute Care Surgery学会	2014.9.20
18	小児の主腓骨断裂を伴う腓頭部十二指腸損傷に対する新たな手術戦略・戦術	成田麻衣子	第6回日本Acute Care Surgery学会	2014.9.21
19	若手外科医の考えるAcute Care Surgery研修	石井健太	第6回日本Acute Care Surgery学会	2014.9.21
20	A new experimental model and application of endograft for lethal hemorrhage of juxtahepatic inferior vena cava injury in a swine model	Koji Idoguchi	CIRSE2014	2014.9.13-17
21	急性硬膜下血腫症例の遠隔期脳実質に見られる影響	萩原 靖	第73回日本脳神経外科学会総会	2014.10.9
22	Hypermucoviscosity phenotype の Klebsiella pneumoniaeによる肝膿瘍、脳膿瘍、敗血症性肺塞栓症の重症例	比良英司	第62回日本化学療法学会西日本支部総会	2014.10.23
23	外傷患者におけるショックの指標として、脈拍数の有用性？	水島靖明	第42回日本救急医学会総会	2014.10.28
24	重症多発外傷における輸液反応性を指標にした循環管理の臨床的応用	渡部広明	第42回日本救急医学会総会	2014.10.28
25	関西空港における救急要請例の検討	斎藤 至	第42回日本救急医学会総会	2014.10.28
26	体幹外傷由来の線溶系亢進が頭部外傷に与える影響	萩原 靖	第42回日本救急医学会総会	2014.10.28
27	心停止で来院し、診断に難渋した気管軟化症の1例	成田麻衣子	第42回日本救急医学会総会	2014.10.29
28	病院前救急診療のための新しい情報共有システム	中田孝明	第42回日本救急医学会総会	2014.10.30
29	大量輸血戦略におけるドクターカー覚知時出動の～FFP投与開始時間の検討より～	中尾彰太	第42回日本救急医学会総会	2014.10.30

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
30	救命救急センターにおける外傷初療時血中IL-9値測定の有用性の検討	谷口昌志	第42回日本救急医学会総会	2014.10.30
31	関西国際空港のfright-associated medical emergency症例の検討	斎藤 至	第21回日本航空医療学会総会	2014.11.15
32	SSTTコースの理念に基づく外傷診療の臨床的効果	比良英司	第32回近畿外傷診療フォーラム	2014.11.29
33	Fluid resuscitation of Trauma Patients	Yasuaki Mizushima	Ulsan Metropolitan City Advanced Trauma Symposium	2014.12.12
34	VAC療法を併用した広範囲熱傷の治療経験	成田麻衣子	第23回日本熱傷学会近畿地方会	2015.1.10
35	肝膿瘍による敗血症性多臓器不全に対してVV-ECMOを使用した1救命例	勝原和博	第42回日本集中治療医学会学術集会	2015.2.9
36	外傷後に生じた遅発性前脛骨動脈仮性瘤破裂に対して、B-glueにて塞栓し得た一例	谷口昌志	第58回関西IVR研究会	2015.2.28
37	右胃大網動脈瘤破裂によりショックを呈した若年女性の1例	山田菜美	第51回日本腹部救急医学会総会	2015.3.5
38	重症鈍的腹部骨盤外傷におけるTAEの位置づけ	中尾彰太	第51回日本腹部救急医学会総会	2015.3.5
39	重症臍頭部損傷におけるダメージコントロール戦略(damage control strategy:DCS)と多段階手術戦略(staged surgery strategy:SSS)	渡部広明	第51回日本腹部救急医学会総会	2015.3.6
40	Surgical Strategy and Treatment for Trauma(SSTT)コース(外傷外科手術治療戦略コース)とon-the-job trainingのコンビネーション	渡部広明	第111回近畿救急医学会研究会	2015.3.7
41	結核性髄膜炎を発症した妊婦の1例	新谷絢司	第111回近畿救急医学会研究会	2015.3.7

(3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	外傷手術の考え方とハイブリッド治療の可能性	井戸口孝二	日本救急放射線研究会 第一回外傷IVR症例検討会	2014.5.10
2	救急救命士の処置拡大について一心肺停止前の輸液路確保ならびにブドウ糖溶液投与—	松岡哲也	泉州南消防本部 泉州地域消防本部消防長・救急担当課長	2014.5.24
3	重症肝損傷におけるPerihepatic packing	渡部広明	外傷外科手術指南塾(日本外傷学会)	2014.6.24
4	ダメージコントロール戦略におけるopen abdomen managementの実際	水島靖明	第28回日本外傷学会 ランチョンセミナー	2014.6.25
5	外傷初期診療におけるIVR—外傷医の視点から—	井戸口孝二	自治医大 第11回救急医学セミナー	2014.7.11
6	重症肝損傷におけるPerihepatic packing	渡部広明	外傷外科手術指南塾(日本消化器外科学会)	2014.7.18
7	外傷初期診療における画像診断とIVR	井戸口孝二	第12回 広島国際フォーラム	2014.8.10
8	重症患者の循環管理は何を指標にしたら良いのか? —輸液反応性の指標の臨床的効果—	渡部広明	京滋クリティカルケア・ヤングアカデミー	2014.8.23
9	どのようにすれば重症多発外傷が救命できるのか—JETEC(外傷専門診療ガイドライン)に基づく治療戦略—	渡部広明	第7回島根レジデントセミナー	2014.9.13
10	新たな外科領域Acute Care Surgeryとはなにか?	比良英司	大阪外科集談会教育セミナー	2014.9.20
11	重症肝損傷におけるPerihepatic packing	渡部広明	外傷外科手術指南塾(第6回ACS学会)	2014.9.20
12	阪神淡路大震災における震災関連疾患の発生状況—災害時病診連携の重要性—	松岡哲也	大阪府医師会11ブロック研修会 医師会員	2014.10.23
13	重症肝損傷におけるPerihepatic packing	渡部広明	外傷外科手術指南塾(日本救急医学会学会)	2014.10.30
14	外傷傷病者に対するMC	松岡哲也	神奈川総合医療会館 神奈川県MC関係者(医師・救急救命士)	2014.12.2
15	重症外傷患者救命のために外傷診療チームに求められる能力	松岡哲也	横浜市立大学救命救急センター 医師・看護師・コメディカル	2014.12.2
16	プロトコルの策定とオンラインMC	松岡哲也	病院前医療体制における指導医セミナー(兵庫災害医療センター) 医師	2014.12.3

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
17	外傷外科手術なんて怖くない！ ～緊急開腹・開胸術に強くなるセミナー～	渡部広明	メディカセミナー	2015.1.17
18	open abdomen managementの合併症、予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明	第6回近畿救急局所陰圧閉鎖療法研究会	2015.1.24
19	外傷外科手術なんて怖くない！ ～緊急開腹・開胸術に強くなるセミナー～	渡部広明	メディカセミナー	2015.2.14
20	重症肝損傷におけるPerihepatic packing	渡部広明	外傷外科手術指南塾(日本腹部救急医学会学会)	2015.3.4
21	スパズム予防のための輸液管理プロトコルと新しい循環評価	萩原 靖	第40回日本脳卒中学会	2015.3.26



平成27年度

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Fulminant amoebic enteritis that developed in the perinatal period	Mayako Goto, Yasuaki Mizushima, Tetsuya Matsuoka	BMJ			2015
2	The risk of pediatric bicycle handlebar injury compared with non-handlebar injury:a retrospective multicenter study in Osaka	Tomoya Hirose, Hiroshi Ogura, Takeyuki Kiguchi, Yasuaki Mizushima, Futoshi Kimbara, Junya Shimazaki, Shigeru Shiono, Hitoshi Yamamura, Akinori Wakai, Ryosuke Takegawa, Hisatake Matsumoto, Mitsuo ohnishi, and Takeshi shimazu	Scandinavian Journal of Trauma, Resuscitation and Emergency Medicine (Open Acces)	23		2015
3	Development of a prehospital vital signs chart sharing system	Taka-aki Nakada,MD,PhD, Naohisa Masunaga,MD, Shota Nakao,MD, Maiko Narita,MD, Takashi Fuse,MD, Hiroaki Watanabe,MD,PhD, Yasuaki Mizushima,MD,PhD, Tetsuya Matsuoka,MD,PhD	American Journal of Emergency Medicine	34	88-92	2016
4	Cardiac arrest due to airway obstruction in hereditary angioedema	Takashi Fuse,MD Taka-aki Nakada,MD,PhD Masashi Taniguchi,MD Yasuaki Mizushima,MD,PhD Tetsuya Matsuoka,MD,PhD	American Journal of Emergency Medicine	33	1840e1-1840e2	2015
5	Association Between Male Sex and Increased Mortality After Falls	Taka-aki Nakada,MD,PhD, Shota Nakao,MD, Yasuaki Mizushima,MD,PhD, and Tetsuya Matsuoka,MD,PhD	Academic Emergency Medicine		708-713	2015
6	A case of delayed hemothorax with an inferior phrenic artery injury detected and treated endovascularly	Keiji Yamanashi, Shota Nakao, Koji Idoguchi, and Tetsuya Matsuoka	Clinical Case Reports (Open Acces)		1-4	2015
7	Association between increased blood interleukin-6 levels on emergency department arrival and prolonged length of intensive care unit stay for blunt trauma	Masashi Taniguchi, Taka-aki nakada, Koichiro shinozaki, Yasuaki Mizushima, and Tetsuya Matsuoka	World Journal of Emergency Surgery (Open Acces)	11		2016
8	CAN EARLY AGGRESSIVE ADMINISTRATION OF FRESH FROZEN PLASMA IMPROVE OUTCOMES IN PATIENTS WITH SEVERE BLUNT TRAUMA?—A REPORT BY THE JAPANESE ASSOCIATION FOR THE SURGERY OF TRAUMA	Akiyoshi Hagiwara, Shigeki Kushimoto, Hiroshi Kato, Junichi Sasaki, Hiroshi Ogura, Tetsuya Matsuoka, Toshifumi Uejima, Mineji Hayakawa, Munekazu Takeda, Naoyuki Kaneko, Daizoh Saitoh, Hiroyuki Yokota, Teruo Sakamoto, Hiroshi Tanaka, Atsushi Shiraiishi, Naoto Morimura, and Hiroyasu Ishikura	SHOCK	45 (5)	495-501	2016
9	Fibromuscular dysplasia presenting as hemorrhagic shock due to spontaneous rupture of a right gastroepiploic artery aneurysm	Mami Yamada, Taka-aki nakada, Koji Idoguchi, and Tetsuya Matsuoka	The American Journal of Emergency Medicine	34 (3)	677e3-677e5	2016

(2) 和文原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Open abdomen management(OAM)の臨床—OAMに関する新知見—	渡部広明 水島靖明 松岡哲也	日本外科感染学会雑誌	12(3)	149-157	2015
2	Perihepatic packing の具体的手技	山本博崇 渡部広明 水島靖明 松岡哲也	Japanese journal of Acute Care Surgery		77-81	2015
3	搬送先選定困難例の個別検証および情報共有体制整備の有用性～たらい回しゼロを目指して～	中尾彰太 成田麻衣子 比良英司 勝原和博 松岡哲也	日臨救急医学会誌(JJSEM)	18(3)	521-527	2015
4	Open abdomen management(OAM)の合併症予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明 増永直久 吉川吉暁 藤見 聡 伊藤裕介 山添真志 小野真義 晋山直樹 岡 和幸 小川新史 池側 均 嶋津岳士	日本救急医学会雑誌(JJAAM)	26	116-124	2015
5	Perihepatic packing の具体的手技	山本博崇 渡部広明 水島靖明 松岡哲也	Japanese Journal of Acute Care Surgery		77-81	2015
6	Acute care surgery 修練カリキュラム	渡部広明	臨床雑誌「外科」	77(11)	1217-1222	2015
7	鈍的外傷患者の大量出血における予測因子の検討	後藤真耶子 水島靖明 松岡哲也	JJAAM(日本救急医学会雑誌)	26	670-675	2015
8	Open abdomen management (OAM)の合併症、予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明 増永直久 吉川吉暁 藤見 聡 伊藤裕介 山添 真志 小野真義 晋山直樹 岡 和幸 小川新史 池側 均 嶋津岳士	JJAAM(日本救急医学会雑誌)	26	116-124	2015
9	各論 I ;外傷 血管 IVR 骨盤外傷のIVR	白井亮介 井戸口孝二 水島靖明	救急医学	40(2)	171-177	2016
10	各論 疾病 Disaster related disease	松岡哲也	救急医学	40(3)	339-344	2016
11	IVこんな時、腹部エコーは役立つ！.役立たない？ 13.腹部外傷	成田麻衣子 井戸口孝二	一歩進んだ腹部エコーの使い方		223-230	2016
12	IVこんな時、腹部エコーは役立つ！.役立たない？ ミニレクチャー 血腫の見え方	成田麻衣子 井戸口孝二	一歩進んだ腹部エコーの使い方		231-234	2016
13	栄養療法がわかる！できる！	泉野浩生	レジデントノート増刊号	17(17)		2016
14	こんなときどうする？③～食べてくれないとき	泉野浩生	レジデントノート増刊号	17(17)	115-122	2016
15	DCS(damage control surgery)	井戸口孝二	外傷の術後管理のスタンダードはこれだ！		174-178	2016

(3) 国際学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	ASSOCIATION OF MALE GENDER WITH INCRATED MORTALITY IN FALLS	T.nakada	16th European Congress of Trauma & Emergency Surgery	ポスター	2015.5.10-12
2	Surgical Strategy and Treatment for Trauma Course to Encourage Teamwork Development	Y.Mizushima	3rd Pan Pacific Trauma Congress	教育講演	2015.6.4
3	How to Early Detect and Resuscitate Severe Trauma Patients?	Hiroaki Watanabe	WFSICCM	シンポジウム	2015.8.30
4	N-butyl-2-cyanoacrylate embolization for emergency treatment of traumatic arterial hemorrhage	K.Idoguchi	CIRSE2015	ポスター	2015.9.26-30
5	Prehospital trauma care using Doctor's car	H Watanabe	2015 Ajour International Trauma Conference	その他の演題(特別講演、救急隊教育講演など)	2015.11.19
6	Evaluation of the Results of Abdomen Surveillance Culture in the Patients Undergoing Open Abdomen Management	N.Masunaga	ACEM2015	ポスター	2015.11.8
7	A retrospective,multicenter study on clinical outcomes after open abdomen management in Japan	Y.Mizushima	ACEM2015	口演	2015.11.8

(4) 国内学会報告

番号	整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1		JETECに基づく重症腹部外傷におけるDamage control surgery～どのようにすれば重症外傷を救命できるのか？～	渡部広明	第115回日本外科学会総会	シンポジウム	2015.4.16
2		外傷診療における血管内治療	井戸口孝二	第71回日本放射線技術学会	セミナー	2015.4.19
3		局所陰圧閉鎖療法が奏功した術後小腸瘻の一例	高山和之	第197回近畿外科学会	口演	2015.5.9
4		ICTを活用した救急搬送患者レジストリによる二次医療圏規模の病院前医療体制の把握	中尾彰太	第18回日本臨床救急医学会	パネルディスカッション	2015.6.5
5		自動胸骨圧迫装置を用いた心肺蘇生の有用性～CCFに注目した検討～	木村信広	第18回日本臨床救急医学会	口演	2015.6.5
6		実施基準に基づく評価による急性冠症候群の診断能の検証	上原健一	第18回日本臨床救急医学会	口演	2015.6.5
7		止血困難な脳静脈洞損傷を伴う重症頭部外傷に対する2期的手術:A Case Report	比良英司	第29回日本外傷学会	ポスター	2015.6.11
8		血小板輸血および血小板低下に対する予測因子の検討	石井健太	第29回日本外傷学会	口演	2015.6.11
9		外傷性四肢動脈損傷に対する血管内治療の現状	井戸口孝二	第29回日本外傷学会	口演	2015.6.11
10		騒音抑圧型聴診器の開発および屋外での外傷性気胸検出の試み	林 伸洋	第29回日本外傷学会	口演	2015.6.12
11		鈍的外傷に伴う鎖骨下動脈損傷に対し、緊急血管内治療を施工した一例	福間 博	第29回日本外傷学会	ポスター	2015.6.12
12		重症腹部外傷を救命するためには何をなすべきか？～蘇生のための出血コントロールと感染制御～	渡部広明	第29回日本外傷学会	外傷専門医育成のための教育セミナー	2015.6.12
13		Open abdomen management (OAM)における監視培養結果の検討	増永直久	第29回日本外傷学会	優秀演題セッション	2015.6.12
14		肝胆膵領域におけるダメージコントロール戦略とその戦術	渡部広明	第40回日本外科系連合学会	ワークショップ	2015.6.19
15		Acute Care Surgeryに必要な能力とそのトレーニングシステム	渡部広明	第70回日本消化器外科学会総会	ワークショップ	2015.7.15
16		ICTを用いた医師集合要請システム	中田孝明	第30回日本救急医学会総会	口演	2015.9.12
17		腹部外傷における腹腔鏡手術の適応～適切な外傷腹腔鏡手術の導入を目指して～	比良英司	第7回日本Acute Care Surgery学会	ワークショップ	2015.10.3
18		当院における鈍的腹部外傷の止血戦略～OpeとIVRどちらを優先するか～	中尾彰太	第7回日本Acute Care Surgery学会	パネルディスカッション	2015.10.3
19		大腸穿孔及び大腸虚血による重症腹膜炎に対しdamage control戦略を施行した症例の検討	増永直久	第7回日本Acute Care Surgery学会	口演	2015.10.3
20		2期的手術を行った大腸癌穿孔の2例	石井健太	第7回日本Acute Care Surgery学会	ポスター	2015.10.3
21		IIIb型肝損傷に合併した肝外肝管損傷に対して、経空腸的肝管ドレナージにより再建し救命し得た1例	成田麻衣子	第7回日本Acute Care Surgery学会	ポスター	2015.10.3
22		Acute Care Surgeryの教育に求められるもの	渡部広明	第7回日本Acute Care Surgery学会	シンポジウム	2015.10.4
23		Acute Care Surgeryカリキュラムにおける治療戦略決定とチームワーク構築トレーニング	渡部広明	第7回日本Acute Care Surgery学会	シンポジウム	2015.10.4
24		Open abdomen management(OAM)の合併症、予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明	第43回日本救急医学会総会	フォーラムセッション	2015.10.21
25		栄養療法の実際～開始の基準、栄養パスの導入に向けて～	泉野浩生	第43回日本救急医学会総会	ランチョンセミナー	2016.10.22
26		原因不明の脳梗塞を合併した小児眼窩弋創の一例	増永直久	第43回日本救急医学会総会	ポスター	2015.10.22

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
27	二次医療圏規模の救急医療体制を俯瞰するための救急搬送患者レジストリの運用	中尾彰太	第43回日本救急医学会総会	パネルディスカッション	2015.10.23
28	ベッド移動に伴いショックバイタルを呈した骨盤輪骨折患者の特徴	小野秀文	第43回日本救急医学会総会	口演	2015.10.21
29	当センターにおける細径大動脈遮断バルーンカテーテルの使用経験	成田麻衣子	第43回日本救急医学会総会	口演	2015.10.23
30	再増大を来した脳出血の4例ー再出血の危険因子についての考察ー	布施貴司	第43回日本救急医学会総会	口演	2015.10.21
31	外傷症例に特化したドクターカー覚知時出動システムの現状と課題～ドクターカー運用による不利益はないか～	福間 博	第10回日本病院前救急診療医学会	シンポジウム	2015.11.27
32	自動胸骨圧迫装置を用いた機械的CPRがCCFに与える影響に関する一考察	木村信広	第24回全国救急隊員シンポジウム	口演	2015.12.3
33	来院時凝固障害は重症鈍的外傷の独立した予後因子か？	石井健太	第43回日本集中治療医学会学術集会	口演	2016.2.12
34	出血傾向・舌の著明な腫脹を契機にビタミンK欠乏症を合併した後天性欠乏病Aと診断した1例	野間貴之	第43回日本集中治療医学会学術集会	ポスター	2016.2.13
35	Ⅲ度熱中症に対する血管内冷却カテーテルおよび体表冷却の比較	安念 優	第43回日本集中治療医学会学術集会	ポスター	2016.2.14
36	チーム医療と医療安全ーSSTTコースによるチームワークの構築ー	水島靖明	第9回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会	ランチオンセミナー	2016.2.27
37	Acute Care Surgeon のためのチームマネジメント育成システム	比良英司	第52回日本腹部救急医学会総会	口演	2016.3.3
38	左胃動脈瘤破裂後に、短期間で急速な脾十二指腸動脈アーケードの瘤化を来したsegmental arterial mediolysisが疑われた1例	白井亮介	第52回日本腹部救急医学会総会	口演	2016.3.4
39	ジェットスキー事故による直腸・膣損傷の3例	菱川恭子	第52回日本腹部救急医学会総会	口演	2016.3.4
40	腹部外傷に対する当院の止血戦略～開腹とIVRは止血術の両輪だ～	林 伸洋	第52回日本腹部救急医学会総会	シンポジウム	2016.3.4
41	高位後腹膜血腫は開放すべきか？	福間 博	第52回日本腹部救急医学会総会	パネルディスカッション	2016.3.4

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	IVR先行二期的血管再建術により救肢し得た外傷性膝窩動脈閉塞の1例	山田菜美	第59回関西INTERVENTIONAL RADIOLOGY研究会	2015.6.27
2	Open abdomen managementの合併症、予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明	近畿救急局所陰圧閉鎖療法研究会	2015.7.7
3	胸骨圧迫後の肝損傷に対して、DCSを行い救命した一例	成田麻衣子	第112回近畿救急医学研究会	2015.7.11
4	外傷診療に求められる能力とは？	水島靖明	第3回Acute care surgeryフォーラム	2016.2.4
5	救命救急センターにおける外傷IVRの取り組み	井戸口孝二	関西IVR研究会(59回中部IVR研究会)	2016.2.13

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	Acute Care Surgeryとは何か？～救急医学、外科、集中治療が融合した新たな診療領域～	渡部広明	泉州地域医療フォーラム	2015.5.30
2	外傷初期診療のながれー時間を意識した治療戦略ー	井戸口孝二	平成27年度救急撮影講習会	2015.7.19
3	大阪府泉州圏域における救急医療の現状	松岡哲也	泉州地域リハ懇話会	2015.7.25
4	外傷初期診療のながれー時間を意識した治療戦略ー	井戸口孝二	平成27年度救急撮影講習会	2015.8.2
5	外傷診療におけるIVRーチーム医療で救命するー	井戸口孝二	近畿救急撮影セミナー	2015.8.22
6	人における全身性炎症反応症候群の基礎と臨床	安達晋吾	日本獣医臨床病理学会 秋のシンポジウム	2015.10.4
7	大阪府統一版、傷病者の搬送と受入れの実施基準ーオリオンはなぜ必要かー	松岡哲也	大阪府下救急担当者会議	2015.10.16
8	重症外傷に対するIVR	井戸口孝二	仙台救急放射線フォーラム	2015.11.5

(7) 座長

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	症例検討「一般救急・外傷症例」	井戸口孝二	第2回救急・外傷IVR症例検討会	2015.5.10
2	シンポジウム チーム医療への産画 ～診療放射線技師が今やるべきこと～	井戸口孝二 加藤光久	第18回日本臨床救急医学会	2015.6.4
3	一般口演 外傷診療体制1	松岡哲也	第29回日本外傷学会	2015.6.12
4	主題関連セッション28 パネルディスカッション1 救急医療を俯瞰して体制を構築する:メディカルコントロールの新たなあり方	渡部広明	第43回日本救急医学会総会	2015.10.23
5	口演 重症度評価 生体侵襲	松岡哲也	第43回日本救急医学会総会	2015.10.21
6	口演 腹部外傷2	水島靖明	第43回日本救急医学会総会	2015.10.21


 平成28年度

(1) 英文原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Development of a prehospital vital signs chart sharing system	Taka-aki Nakada, MD, PhD, Naohisa Masunaga, MD, Shota Nakao, MD, Maiko Narita, MD, Takashi Fuse, MD, Hiroaki Watanabe, MD, PhD, Yasuaki Mizushima, MD, PhD, Tetsuya Matsuoka, MD, PhD	American Journal of Emergency Medicine	34	88-92	2016
2	Association between increased blood interleukin-6 levels on emergency department arrival and prolonged length of intensive care unit stay for blunt trauma	<u>Masashi Taniguchi</u> , <u>Taka-aki nakada</u> , Koichiro shinozaki, <u>Yasuaki Mizushima</u> and <u>Tetsuya Matsuoka</u>	World Journal of Emergency Surgery		7-2～ 7-7	2016
3	CAN EARLY AGGRESSIVE ADMINISTRATION OF FRESH FROZEN PLASMA IMPROVE OUTCOMES IN PATIENTS WITH SEVERE BLUNT TRAUMA?—A REPORT BY THE JAPANESE ASSOCIATION FOR THE SURGERY OF TRAUMA	Akiyoshi Hagiwara, Shigeki Kushimoto, Hiroshi Kato, Junichi Sasaki, Hiroshi Ogura, <u>Tetsuya Matsuoka</u> , Toshifumi Uejima, Mineji Hayakawa, Munekazu Takeda, Naoyuki Kaneko, Daizoh Saitoh, Yasuhiro Otomo, Hiroyuki Yokota, Teruo Sakamoto, Hiroshi Tanaka, Atsushi Shiraishi, Naoto Morimura, and Hiroyasu Ishikura	SHOCK	45(5)	495-501	2016
4	Fibrinogen level on admission is a predictor for massive transfusion in patients with severe blunt trauma:Analyses of a retrospective multicentre observational study	Yoshiko Nakamura, Hiroyasu Ishikura, Shigeki Kushimoto, Fumiaki Kiyomi, Hiroshi kato, Junichi Sasaki, Hiroshi Ogura, <u>Tetsuya Matsuoka</u> , Toshifumi Uejima, Naoto Morimura, Mineji Hayakawa, Akiyoshi Hagiwara, Munekazu Takeda, Naoyuki Kaneko, Daizoh Saitoh, Daisuke Kudo, Kunihiko Maekawa, Takashi Kanemura, Takayuki Shibusawa, Yasushi Hagihara, Shintaro Furugori, Atsushi Shiraishi, Kiyoshi Murata, Gou Mayama, Arino Yaguchi, Shiei Kim, Osamu Takasu, Kazutaka Nishiyama	Injury			2016

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
5	Development of Novel Criteria of the "Lethal Triad" as an Indicator of Decision Making in Current Trauma Care:A Retrospective Multicenter Observational Study in Japan	Akira Endo, MD; Atsushi Shiraishi, MD, PhD; Yasuhiro Otomo, MD, PhD; Shigeki Kushimoto, MD, PhD; Daizoh Saitoh, MD, PhD; Mineji Hayakawa, MD, PhD; Hiroshi Ogura, MD, PhD; Kiyoshi Murata, MD, PhD; Akiyoshi Hagiwara, MD, PhD; Junichi Sasaki, MD PhD; Tetsuya Matsuoka, MD, PhD; Toshifumi Uejima, MD, PhD; Naoto Morimura, MD, PhD; Hiroyasu Ishikura, MD, PhD; Munekazu Takeda, MD, PhD; Naoyuki Kaneko, MD, PhD; Hiroshi Kato, MD, PhD; Daisuke Kudo, MD, PhD; Takashi Kanemura, MD, PhD; Takayuki Shibusawa, MD, PhD; Yasushi Hagiwara, MD, PhD; SHintaro Furugori, MD, PhD; Yoshihiko Nakamura, MD, PhD; Kunihiko Maekawa, MD, PhD; Gou Mayama, MD, PhD; Arino Yaguchi, MD, PhD; Shiei Kim, MD, PhD; Osamu Takasu, MD, PhD; Kazutaka Nishiyama, MD, PhD	Critical Care Medicine			2016

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	各論 I ;外傷 血管 IVR 骨盤外傷のIVR	白井亮介 井戸口孝二 水島靖明	救急医学	40	171-177	2016
2	各論 疾病 Disaster related disease	松岡哲也	救急医学	40	339-344	2016
3	超入門人工呼吸患者の胸部画像の見かた	坂下恵治 松岡哲也	呼吸器ケア	14	36-37	2016
4	当院における成人鈍的腹部外傷の止血戦略 ~開腹術とIVRどちらを優先するか~	中尾彰太 井戸口孝二 比良英司 水島靖明 松岡哲也 渡部広明	Japanese Journal of Acute Care Surgery	6	14-19	2016
5	III b型肝損傷に合併した複雑肝門部胆管損傷に対して、非縫合性圧着式胆管空腸吻合により再建し救命し得た1例	成田麻衣子 渡部広明 中尾彰太 比良英司 井戸口孝二 水島靖明 松岡哲也	Japanese Journal of Acute Care Surgery	6	67-71	2016
6	病院前外傷診療における覚知時ドクターカー出動要請システムの現状と課題	松浦治人 渡部広明 中尾彰太 木村信広 松岡哲也	日本臨床救急医学会雑誌 別冊 日臨救急医会誌 (JJSEM)	19(4)	559-565	2016
7	救急画像診断の工夫と可能性 造影CT検査、特にプロトコルについて	坂下恵治 西池成章 藤村一郎 相良健司 松岡哲也	救急医学 2016年9月臨時増刊号	40(10)	1268 -1276	2016
8	重傷外傷患者における輸液療法の実際	水島靖明 石井健太	救急医学	40(13)	1665 -1672	2016
9	救急医療体制整備における救命救急センターの役割 MCの枠組みを超えた体制整備の必要性	中尾彰太 松岡哲也	救急医学	41(3)	319	2017

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Mobile ICU in Japan	Y. Mizushima	4th Pan-Pacific Trauma Congress	招待講演	2016.6.10
2	Selective endovascular embolization of pulmonary artery in blunt polytrauma:a report of 2 cases	K. Idoguchi	CIRSE 2016	一般演題 ポスター	2016.9.10-14

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
3	Balloon-assisted double-barrel catheter technique for glue embolization of a ruptured traumatic anterior tibial artery pseudoaneurysm	K. Idoguchi	CIRSE 2016	一般演題 ポスター	2016.9.10-14
4	Successful endovascular treatment for severe multiple arteriovenous thrombosis caused by heparin-induced thrombocytopenia	R. usui	CIRSE 2016	一般演題 ポスター	2016.9.10-14
5	Safety and efficacy of resuscitative endovascular balloon occlusion of the aorta using a 7-Fr sheath	M. narita	CIRSE 2016	一般演題 ポスター	2016.9.10-14
6	Prehospital and transfer REBOA in Japan—preliminary experience—	K. idoguchi	EVTM Symposium	一般演題 口演	2017.2.3

(4) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	出血性ショック患者に対する初期輸液療法の目的 ～治療方針を決定する羅針盤としての、重要性の再確認～	水島靖明	第19回日本臨床救急医学会	シンポジウム	2016.5.13
2	地域医療構想の策定は、適正な救急医療体制の構築に通ずる	松岡哲也	第19回日本臨床救急医学会	パネルディス カッション	2016.5.13
3	二次医療圏規模の救急搬送患者登録システムより判明した小児救急搬送の現状と課題	安達晋吾	第19回日本臨床救急医学会	パネルディス カッション	2016.5.13
4	Trauma Pan-scanの適応を考える-当院におけるCT撮影方法の検証-	成田麻衣子	第19回日本臨床救急医学会	パネルディス カッション	2016.5.13
5	地域網羅的なデータによる傷病者の搬送および受入れの実施基準の検証	中尾彰太	第19回日本臨床救急医学会	一般演題口 演	2016.5.13
6	ブタ肝後面下大動脈損傷モデルを用いたステントグラフトによる止血効果の検討	井戸口孝二	日本IVR学会総会	一般演題口 演	2016.5.27
7	NOMを施行した肝損傷に伴う胆道系損傷への対応～DIC-CTによる早期診断の有用性～	中尾彰太	第30回日本外傷学会	フォーラムセ ッション	2016.5.30
8	病院前診療における乳酸値測定の意義	福岡 博	第30回日本外傷学会	フォーラムセ ッション	2016.5.30
9	外傷におけるクリオプレシペート製剤の適応と投与開始基準の検討	石井健太	第30回日本外傷学会	パネルディス カッション	2016.5.31
10	アンギオ室における外傷ハイブリッド治療の現状-迅速かつ安全なIVRを目指して-	井戸口孝二	第61回関西IVR研究会	一般演題口 演	2016.6.25
11	下横隔動脈損傷が原因で遅発性に大量血胸を来し、TAEで止血した1例	中尾彰太	第61回関西IVR研究会	一般演題口 演	2016.6.25
12	大阪府泉州二医療圏における小児重症外傷診療の現状と課題、今後の展望	安達晋吾	第30回日本小児救急医学会	特別企画	2016.7.1
13	大阪府実施基準における小児の呼吸数・脈拍数の基準値改訂についての提言	安達晋吾	第30回日本小児救急医学会	一般演題口 演	2016.7.2
14	Mission:早期経腸栄養に挑戦する	泉野浩生	第61回日本集中治療医学会 近畿地方会	共催教育講 演	2016.7.9
15	IVRの実際	井戸口孝二	第8回日本Acute Care Surgery学会	教育講演	2016.9.24
16	Damage Control Resuscitation	水島靖明	第8回日本Acute Care Surgery学会	教育講演	2016.9.24
17	皮膚所見が軽微であった壊死性筋膜炎を伴う劇症型A群レンサ球菌感染症の1例	鄭 賢樹	第8回日本Acute Care Surgery学会	パネルディス カッション	2016.9.24
18	26分間の開胸心マッサージを経て、良好な神経学的予後を得た鈍的多発外傷の1例	成田麻衣子	第8回日本Acute Care Surgery学会	パネルディス カッション	2016.9.24
19	救急科専門医がMCにおいて果たすべき役割とは何か?	中尾彰太	第44回日本救急医学会総会	シンポジウム	2016.11.17
20	初心者のための経腸栄養セミナー ～病態別経腸栄養導入のコツ～	泉野浩生	第44回日本救急医学会総会	イブニングセ ミナー	2016.11.18
21	救急医療体制の充実には、救命救急センターを中心としたMCの枠組みを超えた体制整備が必要である	中尾彰太	第44回日本救急医学会総会	シンポジウム	2016.11.18
22	頭部外傷緊急開頭術における緊急大量輸血プロトコル	石井健太	第44回日本救急医学会総会	パネルディス カッション	2016.11.18

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
23	救命救急センターにおけるインシデント報告のフレームワーク分析	小野秀文	第44回日本救急医学会総会	一般演題口演	2016.11.18
24	外傷症例におけるドクターカー運用の在り方	福岡 博	第11回日本病院前救急診療医学会	ポスター	2016.12.9
25	重症外傷患者救命のための道標 ～外傷外科手術治療戦略 (Surgical Strategy and Treatment for Trauma:SSTT)コース	松岡哲也	第22回日本脳神経外科救急学会	特別講演	2017.2.3
26	災害における病院職員招集システム ～Disaster Control System～の開発	山田茉美	第22回日本集団災害医学会	一般演題口演	2017.2.15
27	当院での腹部外傷における止血戦略の検証	林 伸洋	第53回日本腹部救急医学会総会	シンポジウム	2017.3.2
28	骨盤骨折に対するIVRの実際 ～外傷IVRを理解する～	井戸口孝二	第53回日本腹部救急医学会総会	特別企画	2017.3.2
29	救命救急センターと周産期センターのコラボレーションとチームワーク	成田麻衣子	第53回日本腹部救急医学会総会	ワークショップ	2017.3.3
30	救命センターにおける重篤小児集中治療の質	安達晋吾	第44回日本集中治療医学会	シンポジウム	2017.3.10
31	ICUに必要な栄養プロトコールを作成するために	泉野浩生	第44回日本集中治療医学会	ポスター	2017.3.10

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	「急性期の栄養療法の始め方」	泉野浩生	第23回泉州地区NST研究会	2016.11.5

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	CPRの質を上げるために何をすべきか? ～戦略的な視点で見るCPR～	中尾彰太	2nd RUN Meeting	2016.11.26
2	ORION(大阪府救急搬送支援・情報収取・集計分析システム)とは ～その意義と運用状況～	松岡哲也	「ORIONの意義と運用状況について」説明会及び意見交換会	2017.3.9
3	「在宅医療の後方支援体制の整備について」～地域医療構想(ビジョン)の策定を踏まえて～	松岡哲也	第5回泉佐野泉南医師会 在宅医療研修会 ～在宅医療と後方支援病院～	2017.3.11

(7) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	一般演題「病院前外傷診療」	水島靖明	第30回日本外傷学会	2016.5.30
2	一般口演12 四肢外傷④ その他2	松岡哲也	第30回日本外傷学会	2016.5.30
3	感染症・呼吸不全	中尾彰太	第114回近畿救急医学研究会	2016.7.16
4	「急性期医療における心房細動の関わり」	中尾彰太	第17回泉州急性期医療フォーラム	2016.9.24
5	重症度・予後評価	松岡哲也 荒川裕貴	第44回日本救急医学会総会	2016.11.17
6	外傷病態	中尾 彰太	第44回日本救急医学会総会	2016.11.17
7	消化管2	水島靖明 跡部かおり	第44回日本救急医学会総会	2016.11.19
8	パネルディスカッション「地域で創る後方支援体制」～見せましょう!多職種でつなげる連携体制を～	小笠原秀則 松岡哲也	第5回泉佐野泉南医師会 在宅医療研修会 ～在宅医療と後方支援病院～	2017.3.11

平成29年度

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Perimortem cesarean delivery and subsequent emergency hysterectomy:new strategy for maternal cardiac arrest	Mayako Goto, Hiroaki Watanabe, Kazuhide Ogita, and Tetsuya Matsuoka	Acute Medicine & Surgery 2017	4	467-471	2017
2	Development of a novel information and communication technology system to compensate for a sudden shortage of emergency department physicians	Kumiko Tanaka, Taka-aki Nakada, Hiroshi Fukuma, Shota Nakao, Naohisa Masunaga, Keisuke Tomita, Yosuke Matsumura, Yasuaki Mizushima and Tetsuya Matsuoka	Scandinavian Journal of Trauma, Resuscitation and Emergency Medicine	25 (6)		2017
3	Radiological classification of retroperitoneal hematoma resulting from lumbar vertebral fracture	Shota Nakao, Kazuo Ishikawa, Hidefumi Ono, Kenji Kusakabe, Ichiro Fujimura, Masato Ueno, Koji, Idoguchi, Yasuaki Mizushima, Tetsuya Matsuoka	European Journal of Trauma and Emergency Surgery			2018

(2) 和文原著、総説、著書

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	救急医療におけるメディカルコントロール	松岡哲也 他多数	救急医療におけるメディカルコントロール			2017
2	救命救急センターと周産期センターのコラボレーションとチームワーク	成田麻衣子 中尾彰太 松岡哲也 前中隆秀 荻田和秀	日本腹部救急医学会雑誌	38(3)	489-493	2018

(3) 国際学会報告

番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	CRITICAL LEVEL OF PLASMA FIBRINOGEN IN THE EARLY PHASE OF SEVERE BLUNT TRAUMA PATIENTS	Kenta Ishii MD	76th American Association for the Surgery of Trauma	セッション	2017.9.16
2	Injury to branches of the external iliac arteries in pelvic fractures	M. Narita	CIRSE2017	一般演題 ポスター	2017.9.16-20

(4) 国内学会報告

番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	膝窩動脈損傷の修復後に大量出血とコンパートメント症例群を来した1例の報告	日下部賢治	第130回中部日本整形外科災害外科学会	一般演題 ポスター	2017.4.20
2	外傷センターとして当院での現状と今後の展望	福間 博	第20回日本臨床救急医学会	シンポジウム	2017.5.27
3	骨盤骨折におけるEIA分岐損傷の検討	成田麻衣子	第31回日本外傷学会	一般演題 ポスター	2017.6.1
4	外傷性胆管損傷に対する内視鏡的胆道ドレナージの有用性と限界	根本大資	第31回日本外傷学会	一般演題 ポスター	2017.6.1
5	クリオプレシピテート製剤を含む Massive Transfusion Protocol	石井健太	第31回日本外傷学会	特別ポスターセッション	2017.6.2
6	外傷患者におけるドクターカー運用の在り方	福間 博	第31回日本外傷学会	一般演題 ポスター	2017.6.2
7	クリオプレシピテート製剤を含む Massive Transfusion Protocol	石井健太	第31回日本外傷学会	特別ポスターセッション	2017.6.2
8	手術操作中に動脈損傷を来した大腿骨骨折3症例の報告	日下部賢治	第43回日本骨折治療学会	一般演題 ポスター	2017.7.7
9	救急医療体制の検証におけるORIONの可能性	中尾彰太	第116回近畿救急医学研究会	合同シンポジウム	2017.7.15
10	救急における個人チームワーク能力を測定する尺度開発	小野秀文	第45回日本救急医学会総会	パネルディスカッション	2017.10.24
11	異なった治療経過をたどった妊婦外傷の3例	文野裕美	第45回日本救急医学会総会	一般演題 口演	2017.10.24
12	治療経過中に不整脈と片麻痺の出現により心内膜炎が疑われた化膿性椎間板炎の一例	日下部賢治	第45回日本救急医学会総会	一般演題 ポスター	2017.10.24
13	重症鈍的外傷における来院時凝固・綿溶系マーカーと生命予後の関係	石井健太	第45回日本救急医学会総会	一般演題 口演	2017.10.24
14	救急医がMCで果たすべき役割とは何か? ~PDCAサイクルにあてはめて整理する~	中尾彰太	第45回日本救急医学会総会	シンポジウム	2017.10.25
15	二次医療圏規模の救急搬送患者登録システムより判明した小児救急搬送の現状と課題, 今後の展望	安達晋吾	第45回日本救急医学会総会	シンポジウム	2017.10.26
16	腸管を起動させるための早期経腸栄養	泉野浩生	第45回日本救急医学会総会	パネルディスカッション	2017.10.26
17	鎮静管理継続のため頭蓋内圧測定を要した症例の検討	松浦誠	第45回日本救急医学会総会	一般演題 ポスター	2017.10.27
18	救命医の集中治療室勤務におけるワーク・ライフ・バランス ~いかにして休ませるか~	中尾彰太	第45回日本集中治療医学会	シンポジウム	2018.2.21

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
19	血管収縮薬投与下の早期経腸栄養	泉野浩生	第45回日本集中治療医学会	シンポジウム	2018.2.21
20	敗血症患者のempiric therapy ESBL産生菌を想定したカルバペネム系抗菌薬を使用することは妥当である	安達晋吾	第45回日本集中治療医学会	一般演題 口演	2018.2.21
21	菌血症後に、多椎間板及び多関節に同時に感染を認めた2例の報告	日下部賢治	第45回日本集中治療医学会	一般演題 ポスター	2018.2.22
22	当センターにおける外傷患者に対する深部静脈血栓症サーベイランスの検討	切詰和孝	第45回日本集中治療医学会	パネルディスカッション	2018.2.23
23	重症肝損傷の止血戦略として、DCS後ルーチンで血管造影を行うことは妥当である	田中久美子	第54回日本腹部救急医学会総会	主題関連演題	2018.3.8
24	外傷性腸管幕損傷における審査腹腔鏡の有用性	文野裕美	第54回日本腹部救急医学会総会	要望演題	2018.3.8
25	直腸損傷を伴う重症軟部組織損傷を合併した不安定型開放骨盤骨折の1救命例	鄭 賢樹	第54回日本腹部救急医学会総会	要望演題	2018.3.8
26	特発性後腹膜出血に対して経カテーテル的動脈塞栓術で止血した1例	臼井亮介	第54回日本腹部救急医学会総会	一般演題 口演	2018.3.8

(5) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	地域医療構想と救急医療体制 「地域包括ケアシステムの確立による救急医療体制への影響は？」	松岡哲也	泉州MC消防部会 講演	2017.5.17
2	地域包括ケアと救急医療 ～地域医療構想の策定は、適切な救急医療体制の整備に通ずる～	松岡哲也	第30回東予地域MC症例検討会	2017.7.22
3	泉州地域の救急医療体制 ～急変時の医療を考える～	松岡哲也	りんくうメディカルプラザ	2017.8.5
4	後方支援体制の進捗状況について	松岡哲也	第6回泉佐野泉南医師会在宅医療研修会	2017.9.9
5	これからの事後検証の在り方	松岡哲也	大阪府下消防長会	2017.10.30
6	病院前から病院内を俯瞰した救急診療体制の充実をめざして ～大阪府泉州地域の取り組み～	松岡哲也	済生会滋賀県病院講演会	2017.12.4
7	ワークショップ:オンラインMC	松岡哲也	2017年度病院前医療体制における指導医等研修(初級)	2017.12.1

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	パネルディスカッション9 「救急初療室における適正な撮影を考える」	松岡哲也 高橋大樹	第20回日本臨床救急医学会	2017.5.26
2	パネルディスカッション 本邦における外傷センターの整備	松岡哲也 大友康裕	第31回日本外傷学会	2017.6.2
3	ポスター13 重症度・予後評価・病態生理	菊野隆明 中村洋平	第45回日本救急医学会総会	2017.10.24
4	ポスター7 頭部外傷1, 胸部外傷1	大槻穰治 臼井亮介	第45回日本救急医学会総会	2017.10.24
5	ランチョンセミナー 共催:エドワーズライフサイエンス(株)	松岡哲也	第45回日本救急医学会総会	2017.10.24
6	パネルディスカッション9関連セッション重症外傷診療のイノベーション:基礎的、臨床的アプローチ	松岡哲也 澤野 誠	第45回日本救急医学会総会	2017.10.25
7	学生・研修医セッション ポスター7 ER診療	中尾彰太	第45回日本救急医学会総会	2017.10.25
8	ポスター78 地域医療2	中尾彰太 南 啓介	第45回日本救急医学会総会	2017.10.26
9	口演42 感染症・敗血症1	川嶋隆久 福間 博	第45回日本救急医学会総会	2017.10.26



平成30年度

(1) 英文原著, 総説, 著書

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	Profile of the ORION(Osaka emergency information Research Intelligent Operation Network system) between 2015 and 2016 in Osaka,Japan:a population-based registry of emergency patients with both ambulance and in-hospital records	Jun Okamoto, <u>Shota Nakao</u> , <u>Tetsuya Matsuoka</u> , et al.	Acute Medicine & Surgery 2019	6:12-24,2018
2	Abdominal aortic aneurysm with periaortic malignant lymphoma differentiated from aneurysmal rupture by clinical presentation and magnetic resonance imaging	Sokichi Kamata,PhD, Yoshito Ito,MD, <u>Koji Idoguchi</u> ,MD,PhD, Masami Imakita,MD,PhD, Toshihiro Funatsu,MD,Phd, and Toshikatsu Yagihara,MD,PhD	Journal of Vascular Surgery Cases and Innovative Techniques June 2018	95-98,2018
3	Impact of initial coagulation and fibrinolytic markers on mortality in patients with severe blunt trauma:a multicentre retrospective observational study	<u>Kenta Ishi</u> , <u>Kazutaka Kiridume</u> , <u>Shota Nakao</u> , <u>Tetsuya Matsuoka</u> , et al.	Scandinavian Journal of Trauma, Resuscitation and Emergency Medicine	27(1):25.doi: 10.1186.s13049-019-0606-6,2019

(2) 和文原著, 総説, 著書

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	骨折整復・固定	日下部賢治,松岡哲也	救急診療指針(改訂第5版)	168-173,2018
2	医原性動脈損傷を合併した大腿骨骨折3症例の報告	日下部賢治, など	骨折	40巻 4号 1104-1106,2018
3	膝窩動脈損傷の修復後に大量出血とコンパートメント症候群を来した1例の報告	日下部賢治,吉元孝一	中部整災誌	61巻 5号 1039-1040,2018

(3) 国際学会報告

番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Endovascular treatment for acute Superior mesenteric artery embolism:A case report	Ryosuke Usui	JSIR & ISIR 2018	デジタルポスター	2018.5.31-6.2
2	Successful endovascular treatment for acute superior mesenteric artery embolism without bowel resection:A case report	Ryosuke Usui	CIRSE2018	一般演題 口演	2018.9.22-25
3	Hemorrhage Control for Complex Pelvic Fractures	Ryosuke Usui	77th Annual Meeting of AAST and Clinical Congress of Acute Care Surgery & 4th World Trauma Congress	一般演題 ポスター	2018.9.26-29
4	Utility of the Original Technology System for Emergency Staffing in the Initial Response of Local Hospitals to Major Incidents	Maiko narita	第14回 Asia Pacific Conference on Disaster Medicine	フォーラム セッション	2018.10.15

(4) 国内学会報告

番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	周術期に発症し、全身管理を要した脂肪塞栓症の2例	吉元孝一	第130回中部日本整形外科災害外科学会	一般演題 ポスター	2018.4.20
2	救急搬送事案に対して、市民の緊急通報は適切になされているのか?	成田麻衣子	第21回日本臨床救急医学会	一般演題 口演	2018.6.1
3	消防が行う臨床研究における倫理的対応の現状と問題点	中尾彰太	第21回日本臨床救急医学会	一般演題 口演	2018.6.1
4	小児・妊婦を含む外国人多数傷病者事故に対してドクターカーが出動し現場統制に關与した事案	安達晋吾	第21回日本臨床救急医学会	一般演題 口演	2018.6.2
5	前向きチャイルドシート使用中に脊髄損傷をきたした幼児 2例	安達晋吾	第32回日本小児救急医学会	一般演題 口演	2018.6.2
6	カンピロバクター腸炎により穿孔性腹膜炎を来した1例	貞松毅大	第118回日本救急医学会近畿地方会	一般演題 口演	2018.6.16
7	迅速かつ適切な病院前活動と病院間連携により転帰改善が得られた幼児脊髄損傷の1例	安達晋吾	第32回日本外傷学会	一般演題 口演	2018.6.21
8	当院でのREBOA使用症例の検討	白井亮介	第32回日本外傷学会	パネルディスカッション	2018.6.21
9	当院におけるDamage control resuscitationの現状と位置付け	福岡博	第32回日本外傷学会	パネルディスカッション	2018.6.21

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
10	あなたならどうする	指定討論者: 小林誠, 中尾 彰太, など	第32回日本外傷学会	Case Conference	2018.6.21
11	鈍的頸椎損傷に合併する椎骨動脈損傷症例の検討	中村洋平	第32回日本外傷学会	一般演題 口演	2018.6.22
12	当院における内因性疾患に対するOAM戦略の妥当性	福間博	第10回日本Acute Care Surgery学会	パネルディスカッション	2018.9.14
13	上腸間膜動脈塞栓症8例に対する治療成績の検討	鄭賢樹	第10回日本Acute Care Surgery学会	一般演題 ポスター	2018.9.15
14	救命器具としての骨盤C-Clampの使用と留意点	日下部賢治	第131回中部日本整形外科災害外科学会	一般演題 ポスター	2018.10.5
15	PC ³ (ピーシーキューブ)における周産期救急の初期診療アルゴリズム	中尾彰太	第39回日本妊娠高血圧学会	特別企画	2018.11.3
16	メディカルコントロールと連動した外傷症例におけるドクターカー出動システムの効果	中尾彰太	第46回日本救急医学会総会	パネルディスカッション	2018.11.19
17	複数の診療科を含む多科の連携により救命できた周産期妊婦心停止の一例	貞松毅大	第46回日本救急医学会総会	一般演題 ポスター	2018.11.20
18	当院における内因性疾患に対するOAM戦略の検討	福間博	第46回日本救急医学会総会	一般演題 口演	2018.11.20
19	救急医の専門性を活かし、企業と共同開発した職員招集システム	成田麻衣子	第46回日本救急医学会総会	一般演題 口演	2018.11.20
20	『面』を意識した病院連携で重篤小児を診る	安達晋吾	第46回日本救急医学会総会	パネルディスカッション	2018.11.20
21	C-Clampの救命における治療効果	日下部賢治	第46回日本救急医学会総会	一般演題 ポスター	2018.11.20
22	当院の救急IVR治療戦略:外傷ハイブリット治療を中心に	臼井亮介	第46回日本救急医学会総会	パネルディスカッション	2018.11.20
23	当院でのacute care surgeryにおける救急医と外科医の役割	文野裕美	第46回日本救急医学会総会	一般演題 口演	2018.11.20
24	腹部外傷に対する腹腔鏡手術の導入及び適応の検討	根本大資	第80回日本臨床外科学会	パネルディスカッション	2018.11.24
25	Refeeding症候群発症予防プロトコルの運用状況と今後の課題	小野恵	第34回JSPEN2019	一般演題 口演	2019.2.14
26	頸椎骨折患者に気管切開が必要となる因子の解析	日下部賢治	第46回日本集中治療医学会	一般演題 ポスター	2019.3.3
27	外傷診療におけるクリオプレシペレート	福間博	第46回日本集中治療医学会	パネルディスカッション	2019.3.3
28	台風21号被災地域内の災害拠点病院における医療活動の報告	成田麻衣子	第24回日本災害医学会	一般演題 ポスター	2019.3.20
29	大阪北部地震における被災地内の災害拠点病院としての実働経験	根本大資	第24回日本災害医学会	一般演題 ポスター	2019.3.20

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	外傷症例におけるケイセントラ使用経験	福間博	南大阪救急ケイセントラ講演会	2018.10.12

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	シンポジウム「ICUにおける早期リハビリテーション」	松岡哲也	第21回日本臨床救急医学会	2018.6.1
2	パネルディスカッション1「Off-the-job trainingの現況」	松岡哲也, など	第32回日本外傷学会	2018.6.21
3	一般講演	中尾彰太	南大阪救急ケイセントラ講演会	2018.10.12
4	口演13 骨盤四肢外傷2	松岡哲也, など	第46回日本救急医学会総会	2018.11.19
5	研修医セッション ポスター4 腹部外傷	中尾彰太	第46回日本救急医学会総会	2018.11.20



平成31年度・令和元年度

(1) 英文原著, 総説, 著書

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	Prehospital lactate improves prediction of the need for immediate interventions for hemorrhage after trauma	Hiroshi Fukuma, Taka-aki Nakada, Shota Nakao, Tetsuya Matsuoka, et al.	SCIENTIFIC REPORTS nature research	9:13755,2019

(2) 和文原著, 総説, 著書

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	肝損傷における胆管ドレナージ:胆道関連合併症のマネージメント	中尾彰太,松岡哲也	胆と膵	Vol41(2):189-194,2020

(3) 国内学会報告

番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	頰椎骨折患者に気管切開が必要となる因子の解析	日下部賢治	第92回日本整形外科学会	一般演題ポスター	2019.5.9
2	地域MC協議会公認の指導救命士ワーキンググループを活用した救急活動プロトコルの改訂	中尾彰太	第22回日本臨床救急医学会	シンポジウム	2019.5.31
3	救急現場活動における小児の呼吸数測定についての課題と展望	安達晋吾	第22回日本臨床救急医学会	パネルディスカッション	2019.5.31
4	3次救急医療機関における救急救命士再教育に係る病院実習の現状～泉州MC所属運用救命士のアンケート結果～	成田麻衣子	第22回日本臨床救急医学会	パネルディスカッション	2019.5.31
5	SSTT(Surgical Strategy and Treatment for Trauma)コース開発とそのあゆみ	中尾彰太	第33回日本外傷学会	SSTT10周年記念セッション	2019.6.6
6	Damage control strategy における大動脈遮断方法の比較検討	白井亮介	第33回日本外傷学会	パネルディスカッション	2019.6.6
7	当院における非骨傷性頸髄損傷に関する検討	吉元孝一	第33回日本外傷学会	ポスター	2019.6.6
8	当院の病院前診療におけるDamage Control Ground Zeroの現状	福間博	第33回日本外傷学会	パネルディスカッション	2019.6.7
9	内因性疾患に対するABTHERAの使用経験	福間博	第34回日本救命医療学会	一般演題	2019.9.28
10	大腿骨骨幹部骨折術後に肺動脈塞栓症と脂肪塞栓症を併発した1例	鳴海雄気	第34回日本救命医療学会	一般演題	2019.9.28
11	防ぎ得た外傷死をよく知る救急医だからこそ、今、子ども虐待に取り組む	安達晋吾	第47回日本救急医学会	口演	2019.10.2
12	重複下大静脈を伴った大動脈解離にVA-ECMOを導入した1例	白井亮介	第47回日本救急医学会	ポスター	2019.10.2
13	敗血症の急性血液浄化療法における透析膜の臨床効果	根本大資	第47回日本救急医学会	口演	2019.10.2
14	関西国際空港における大量殺傷型テロに対する救急災害医療体制調整の試み-G20大阪サミットに向けて-	成田麻衣子	第47回日本救急医学会	シンポジウム	2019.10.3
15	外傷性出血性ショック患者に対する初期輸液療法の提案	福間博	第47回日本救急医学会	パネルディスカッション	2019.10.3
16	当院の病院前診療での開胸大動脈遮断の意義	文野裕美	第47回日本救急医学会	ポスター	2019.10.4
17	2019G20大阪サミットに関する空港の医療体制について	成田麻衣子	第47回日本救急医学会 特別企画5 2019年G20大阪サミット救急・災害医療体制報告会		2019.10.4
18	2018年 台風21号後の復旧工事中の墜落外傷について	鄭賢樹	第47回日本救急医学会	口演	2019.10.4
19	成人型救命救急センターにおける小児重症頭部外傷に対する急性期治療戦略の現状と課題	安達晋吾	日本小児集中治療研究会	シンポジウム	2019.10.19
20	肋骨骨折断端による大動脈損傷が原因で生じた血胸の1例	白井亮介	第55回日本医学放射線学会 秋季臨床大会	一般演題セッション	2019.10.20
21	交通外傷に伴う右室全層性損傷の救命例	福間博	第11回日本Acute Care Surgery学会	ポスター	2019.10.25
22	当センターにおけるSurgical Rescueの現状	鳴海雄気	第11回日本Acute Care Surgery学会	ポスター	2019.10.25
23	重症外傷患者を救命するためには外傷診療システムの構築が必須である	福間博	第81回日本臨床外科学会	要望演題	2019.11.14
24	外傷診療に特化したドクターカー運用マニュアルの導入と効果	福間博	第14回日本病院前救急診療医学会総会	パネルディスカッション	2019.12.8
25	空港における「イベント医療体制構築」と多機関連携-G20大阪サミットで見えてきた多機関連携構築への課題-	成田麻衣子	第25回日本災害医学会	一般演題	2020.2.22

(4) 座長

番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	パネルディスカッション5「小児傷病者の病院前救護と診療における課題と展望」	安達晋吾,他	第22回日本臨床救急医学会	2019.5.31
2	一般演題35「外傷, 多発外傷①」	松岡哲也	第22回日本臨床救急医学会	2019.6.1
3	パネルディスカッション10「早期リハビリテーションにおける多職種連携」	中尾彰太,他	第22回日本臨床救急医学会	2019.6.1
4	パネルディスカッション13「救急放射線撮影時の安全への取り組み」	中尾彰太,他	第22回日本臨床救急医学会	2019.6.1
5	特別講演1「スーパーマイクロサージャリー:再建外科最前線」	松岡哲也	第33回日本外傷学会	2019.6.6
6	SSTT10周年記念セッション「SSTTの足跡とこれから」	松岡哲也,他	第33回日本外傷学会	2019.6.6
7	外傷外科	福岡博	第7回DIRECT症例検討会	2019.10.1
8	パネルディスカッション3「Acute Care Surgeryを科学する」	渡部広明,松岡哲也	第47回日本救急医学会	2019.10.2
9	口演17「災害医療1」	石原諭,根本大資	第47回日本救急医学会	2019.10.2
10	口演47「外傷の病態・診断・治療」	中尾彰太,他	第47回日本救急医学会	2019.10.3
11	ポスター44「中毒1」	目下部賢治,他	第47回日本救急医学会	2019.10.3
12	ポスター55「胸部外傷1」	稲川博司,井上稔也	第47回日本救急医学会	2019.10.4
13	ポスター57「頭部外傷」	工藤智博,鄭賢樹	第47回日本救急医学会	2019.10.4
14	口演(小児集中治療ワークショップ・小児外科共同企画) セッション1「外傷～外傷性出血、初期治療におけるチームアプローチ～」	安達晋吾,他	日本小児集中治療研究会	2019.10.20
15	座談会「地域連携システムはわれわれに何をもちたらずか?」～システム導入による医療連携の方法と変化～」	松岡哲也	第8回全国ID-Link研究会in大阪(なすびんネット研究会)	2019.11.2



令和2年度

(1) 和文原著, 総説, 著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	交通外傷による非骨傷性頸髄硬膜外血腫の一例	上山晋也,中尾彰太,吉元孝一,泉野浩生,文野裕美,目下部賢治,安達晋吾,松岡哲也	日外傷会誌 J-STAGE 早期公開	34:3-7,2020
2	鈍的外傷による仮性肺動脈瘤および大動脈内膜損傷に対する一手術例	玉川友樹,船津俊宏,横山淳也,小野恵,中尾彰太,他	日本血管外科学会雑誌	29(4):209-213,2020
3	鈍的肝・脾・膵損傷	井上稔也,中尾彰太,松岡哲也	消化器外科	43(6):991-1003,2020
4	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)陽性患者に対し外科的気管切開術を施行した経験	福岡博,柳新太郎,鳴海雄気,根本大資,安達晋吾,中尾彰太,松岡哲也	日救急医学会誌	31:333-338,2020
5	救急隊活動における小児傷病者対応のポイント	安達晋吾,他	Prehospital Care	33(3):62-66,2020
6	加温ハイフロー輸液ポンプ	中尾彰太	救急医学	44(7):857-861,2020
7	当院における新型コロナウイルス感染症への対応を、災害医療の目線で振り返る	成田麻衣子	Emer-log 2020	33(6):91-94,2020

(2) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	大阪府救急搬送支援・情報収集・分析システム(ORION)から判明した小児緊急度判定の現状と課題	安達晋吾	第23回日本臨床救急医学会(Web開催)	パネルディスカッション	2020.8.27
2	公共施設における、国内初のターケット導入～関西国際空港の取り組み～	成田麻衣子	第23回日本臨床救急医学会(Web開催)	一般演題 口演	2020.8.27
3	大阪府救急搬送支援・情報収集・分析システム(ORION)による、傷病者の搬送と受入れの実施基準の妥当性評価	中尾彰太	第48回日本救急医学会総会(ハイブリッド方式開催)	パネルディスカッション	2020.11.19
4	救命救急センターICUを直ちにCOVID-19対応病床に変換した取り組み	安達晋吾	第48回日本救急医学会総会(ハイブリッド方式開催)	一般演題 ポスター	2020.11.19
5	COVID-19患者に対し気管切開術を施行した経験	福岡博	第48回日本救急医学会総会(ハイブリッド方式開催)	一般演題 ポスター	2020.11.19
6	外傷に伴い両側大腿動脈内膜損傷が生じた一例	上山晋也	第48回日本救急医学会総会(ハイブリッド方式開催)	一般演題 口演	2020.11.19
7	気道異物による窒息の発生場所と予後の関係	金成浩	第48回日本救急医学会総会(ハイブリッド方式開催)	一般演題 口演	2020.11.20
8	膵損傷にて膵全摘に至った2例の検討	根本大資	第34回日本外傷学会(Web開催)	一般演題 口演	2020.12.07

(3) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	パネルディスカッション15(PD15)「多職種連携～救急CT検査時の安全への取り組み～」	東丈雄, 中尾彰太	第23回日本臨床救急医学会(Web開催)	2020.8.27-28
2	学生・研修医セッション ポスター12 外傷②	中尾彰太	第48回日本救急医学会総会(ハイブリッド方式開催)	2020.11.18-20
3	ポスター94 チーム医療②	松岡哲也	第48回日本救急医学会総会(ハイブリッド方式開催)	2020.11.18-20
4	一般演題「脊椎・脊髄外傷2」	松岡哲也,他	第34回日本外傷学会(Web開催)	2020.12.8